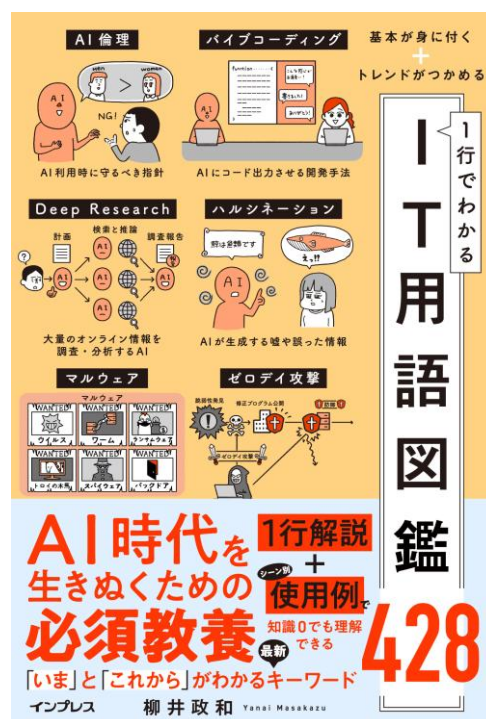


各 位

2026年6月11日
株式会社インプレス

「AI時代」を生き抜くために必要な教養が身に付く！ いま押さえておくべき428個のキーワードを解説した『基本が身に付く+トレンドがつかめる 1行でわかる IT用語図鑑428』を6月11日に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、ビジネスにまつわる基本的なIT用語や、ニュースで何かと話題に出るAIやセキュリティ関連といった現代社会での必須ワードなど、全428用語を解説した書籍『基本が身に付く+トレンドがつかめる 1行でわかるIT用語図鑑428』を2026年6月11日（木）に発売いたします。



■AI時代を賢く生きるための必須知識！ ビジネスシーンでの頻出ワードからAIやセキュリティにまつわる重要用語までを網羅的に解説する、教養としての用語図鑑

AI時代と呼ばれる昨今、IT関連の用語はあらゆるビジネスの現場に浸透しています。生成AIの急速な普及やサイバーセキュリティの重要性が増す中、いまやIT用語はビジネスを円滑に進めるための「共通言語」となっています。しかし、ITを専門としないビジネスパーソンや、これからキャリアを始める若手社員などにとって、技術の発展に伴って増え続けるIT関連の用語を押さえること、またひとつひとつの意味を自力で理解していくことは容易ではありません。

本書は、そんないま押さえておくべきIT用語の基本からトレンドワードまでをカバーした、ビジネスパーソンのための用語図鑑です。「自動運転」や「DX」といったニュースでの頻出用語や「Deep Research」「バイブコーディング」などAI関連の重要なキーワード、「マルウェア」「サプライチェーン攻撃」などセキュリティにまつわる重要用語など全8章にわたって428用語を解説。この1冊を読んでおけば、現代社会で必要とされるIT関連の教養がしっかりと身に付きます。

■用語の意味が1行解説ですぐにわかる！ シーン別の使用例も押さえることでビジネスの場でも実践的に役立ちます

本書の特徴は、一見複雑に見えるIT用語の意味がたった1行の短い解説で端的にわかること。わかりやすく簡潔に用語の意味を紹介しているので、IT分野に馴染みがない読者でもサクッと学ぶことができます。

さらに本書は、イラストレーターUNOKI氏によるイラスト図解も掲載。1行解説で用語の意味をざっくりと理解した後、イメージが掴めるイラストを見ることで用語への理解が深まります。また、3つの要点に絞ったポイント解説も併せて読むことで、その用語の意味に加えて、現代社会での位置づけや注意点なども把握できるので、IT社会への見識を広げる構成となっています。さらに、その用語の分野が将来どうなっていくのか、この先懸念されることなど未来にまつわる知識も盛り込んでいるので、まさにIT社会の「いま」と「これから」がわかる1冊です。

そしてページの下部には、メールや会話といったシーン別の使用例も掲載。どんな時に使われる用語なのかを掴むことで実践的に学ぶことができます。

使用シーン：AIの業務利用

36 ハルシネーション

身近な AI

重要度 ★★★

1行解説

AIが生成する嘘や誤った情報

解説

- ▶ AIが生成する虚偽、不正確な情報。また、それらが生成される現象のこと。ハルシネーションは幻覚を意味する言葉
- ▶ AIは必ずしも正しい情報のみを生成するわけではないので、情報の正確性や信憑性を確かめてから意思決定に用いる必要がある
- ▶ 日々改善されているが、AIを過信しないことが大切。また、AIの真偽を判断できる知識を身に付けておかなければならない

資料に、明らかに虚偽と思われる情報が混ざっています。AIで生成した際のハルシネーションではないでしょうか。

AIのハルシネーションを見抜けないと、AIを使いこなすのは難しいよね

056

使用シーン：カスタマーサービス・調査業務

37 AI エージェント

身近な AI

重要度 ★★

1行解説

ユーザーの代わりに自律的に活動する AI

解説

- ▶ ユーザーの代わりに自律的に計画を立案し、外部ツールやデバイスなどを駆使して目的を達成する AI のこと
- ▶ AIを基盤として、自身で最新の情報を集めて判断や行動ができる
- ▶ 24時間対応のカスタマーサービスや、パーソナライズしたパーソナルアシスタントなど、これからの生活に不可欠な存在になっていく

カスタマーサービスを段階的に AI エージェントに置き換えていきましょう。

AI エージェントが資料作成をしてくれるから、ほかの作業に使える時間が増えた

057

用語の1行解説だけでなく、3つの要点に絞ったポイント解説付き。イラスト図解や使用例と併せて見ることで、いま学んでおくべき知識がスムーズに身に付きます。

また本書は、コンパクトな四六判のため持ち運びに便利です。通勤用のカバンに入れたり、デスクの上に置いたり、いつでもどこでも好きなときに学びやすい設計です。

■本書は以下のような方におすすめです

- ・ IT用語やITと関わりの深いビジネス用語を一通り押さえたいビジネスパーソン
- ・ ITリテラシーを高めたい文系社員
- ・ 転職や社内異動などでIT用語を勉強したい人、学び直したい人
- ・ IT分野に少し馴染みはあるが、さらに理解を深めたい人
- ・ 別業界からIT関連の会社へ転職したばかりの人
- ・ 他業種だがITリテラシーが必要とされるビジネスパーソン
- ・ ノンエンジニア、ノンプログラマー
- ・ IT関連の会社に入社したての新入社員
- ・ メールやサーバー、AIなど最低限のネットワークは使う社会人

■紙面イメージ

使用シーン：新規事業・業務改善の会議

17 ビッグデータ

仕事の現場

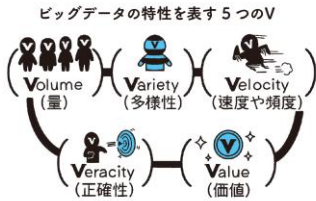
重要度 ★★★

1行解説

簡単には把握が困難な巨大なデータ

解説

- ▶ 一般的なデータベースソフトウェアが把握・蓄積・運用・分析できるサイズを超えたデータ。人間がそのまま把握するのが困難な巨大なもの
- ▶ SNS、動画、Web、顧客情報、IoTのセンサーデータ、社内文書、サーバーのログ、業務情報などのデータがビッグデータとして用いられる
- ▶ 事業に役立つ知見を見出したり、社会・経済の問題を解決したりする目的で用いられる



社内の顧客情報をビッグデータとして活用して、新規事業を立ち上げてほしいです。

店舗のデータは大量にあるけど、いまいちビッグデータとして活用できていないんだよね

036

使用シーン：セキュリティ対策

18 デイアールピー DLP

仕事の現場

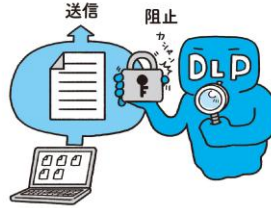
重要度 ★★★

1行解説

データ損失防止、情報漏えい対策の手法

解説

- ▶ Data Loss Preventionの略。機密情報や重要データを監視して保護する機能や製品のこと。データに焦点を当てた情報漏えい対策の手法
- ▶ キーワードやフィンガープリント(データの指紋)で情報を特定し、ミスによる情報漏えいの阻止や、リアルタイムの不正検知を行う
- ▶ 5つの基本機能として、コンテンツ監視、デバイス制御、印刷・コピー制限、Webサイトの制限、メールセキュリティが挙げられる



同業者で情報漏えいが発生しました。情報漏えい対策としてDLP製品の導入を検討してほしいです。

間違っってメール添付で重要データを送った人がいて、DLPのおかげで誤送信を防ぐことができましたよ

037

18
ニュースがわかるようになろう

基本のIT用語からニュースの頻出用語、AI、Webサイト、コンピューター、システム開発、通信、サイバーセキュリティにまつわる428用語を解説。

使用シーン：セキュリティ関連の打ち合わせ

241 ホワイトハッカー

セキュリティの基本

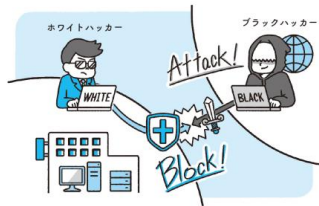
重要度 ★

1行解説

社会のために働く善良なハッカー

解説

- ▶ サイバー攻撃から企業やシステムを守る専門家。ITの知識を善良な目的で使う。サイバー攻撃を行うブラックハッカーと反対の存在
- ▶ システムの脆弱性を調べたり、擬似的な攻撃で弱点を見つけたりする。また、セキュリティ対策を行ったり、トラブルへの対応をしたりする
- ▶ 企業や組織への攻撃が激しさを増す時代に求められる人材



ホワイトハッカーを招いて、セキュリティ研修会を開きます。

ハッカーというと怖いイメージがあるけど、ホワイトハッカーはセキュリティの防衛側なんだよね

272

使用シーン：セキュリティの会話

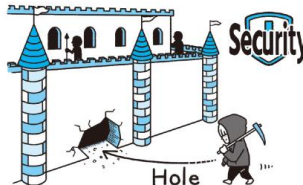
242 セキュリティ/セキュリティホール

セキュリティの基本

重要度 ★★★

1行解説

人為的な攻撃からの防衛と穴



セキュリティ

▶ 人為的な侵害行為から対象を守ること。守る対象によって、情報セキュリティ、サイバーセキュリティなどと使い分ける

▶ システムやコンピューターへの侵入・攻撃から守ること

▶ これからの時代、セキュリティが事業の継続性に直結する

セキュリティホール

▶ システムやソフトウェアなどに存在する弱点や欠陥。脆弱性ともいう

▶ 設計上の問題、実装のミス、レアケースの見逃しなどで生じる。間わる人間が原因となることもある

▶ システムなどの修正プログラムを適用して最新の状態を保つことが重要になる

273

88
サイバ
バ
セ
キュ
リ
ティ
に
欠
か
せ
な
い
用
語

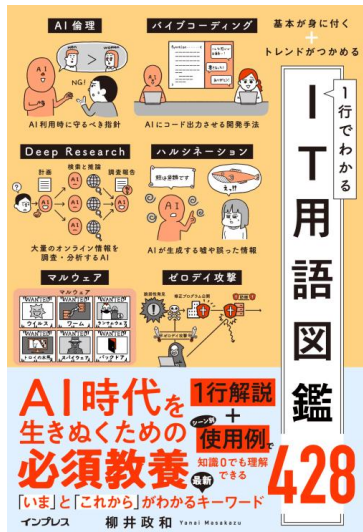
基本的には1ページ1単語の構成ですが、用語の関係性を踏まえてまとめて覚えてほしい用語はセットで紹介。用語の掲載順も関連性を意識してまとめているのでスムーズに用語の意味を理解できます。

■購入者限定特典！ ビジネスシーンの頻出用語がスマホ画面でチェックできる「チートシート78」
ビジネスの現場で頻出する用語を一覧にまとめた「チートシート78」を購入者限定で配布いたします。スマホやタブレットに入れておけば必要なときにサッと用語の意味を確認できます。紙面に掲載した二次元コードから表示できる専用ページからダウンロードができます。

■本書の構成

- 第1章：ニュースがわかるようになる用語
- 第2章：AIに関わる重要な用語
- 第3章：打ち合わせ・商談で役立つ用語
- 第4章：Web サイトの基本が身に付く用語
- 第5章：コンピューターのしくみがわかる用語
- 第6章：システム開発の基本がわかる用語
- 第7章：ネットワーク通信のしくみを知る用語
- 第8章：サイバーセキュリティに欠かせない用語

■書誌情報



書名：基本が身に付く＋トレンドがつかめる 1行でわかるIT用語図鑑
428
著者：柳井政和
発売日：2026年6月11日（木）
ページ数：312ページ
サイズ：四六判
定価：2,178円（本体1,980円＋税10%）
電子版価格：2,178円（本体1,980円＋税10%）※インプレス直販価格
ISBN：978-4-295-024408

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/4295024406>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1125101118>

■著者プロフィール

柳井 政和（やない まさかず）

1975年福岡県北九州市生まれ。1997年熊本大学理学部生物科学科卒業。ゲーム会社勤務を経て、現在クロス・クラウン合同会社代表社員として、ゲームやアプリケーションの開発、プログラミング系技術書や記事、小説やマンガの執筆を行う。主著に『リバーシを作りながら学ぶ JavaScript AIの基本 対戦プログラムの開発に挑戦！』（秀和システム新社）、『JavaScript [完全] 入門』（SBクリエイティブ）などがある。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL : <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。